

大巻染



II

何処かで得体の知れぬ
病原菌を手に入れた青娥は

前回までの
あらすじ



各地で被害者を
出していた



黒谷ヤマメ
貴方に真理の
一片を授けます



後に、私達を脅迫し
ある役目を強いる



ウイルスを
治せる唯一の
存在

それを
豊聡耳様に
演じて
頂きます



難しい事では
ありません

ただ、誓いの間
私を守って
下されば
宜しいのです

さらに、向日葵畑の
主を脅迫し
計画を果たすまでの
盾とした。しかし…



古明地の妹
により
地獄の獣に
襲撃された
二人は

さらなる増援
悪魔の従者に
奇襲され
青娥の盾が
倒された





本当に加減
してくれない……!!

悪いね

お姉さん





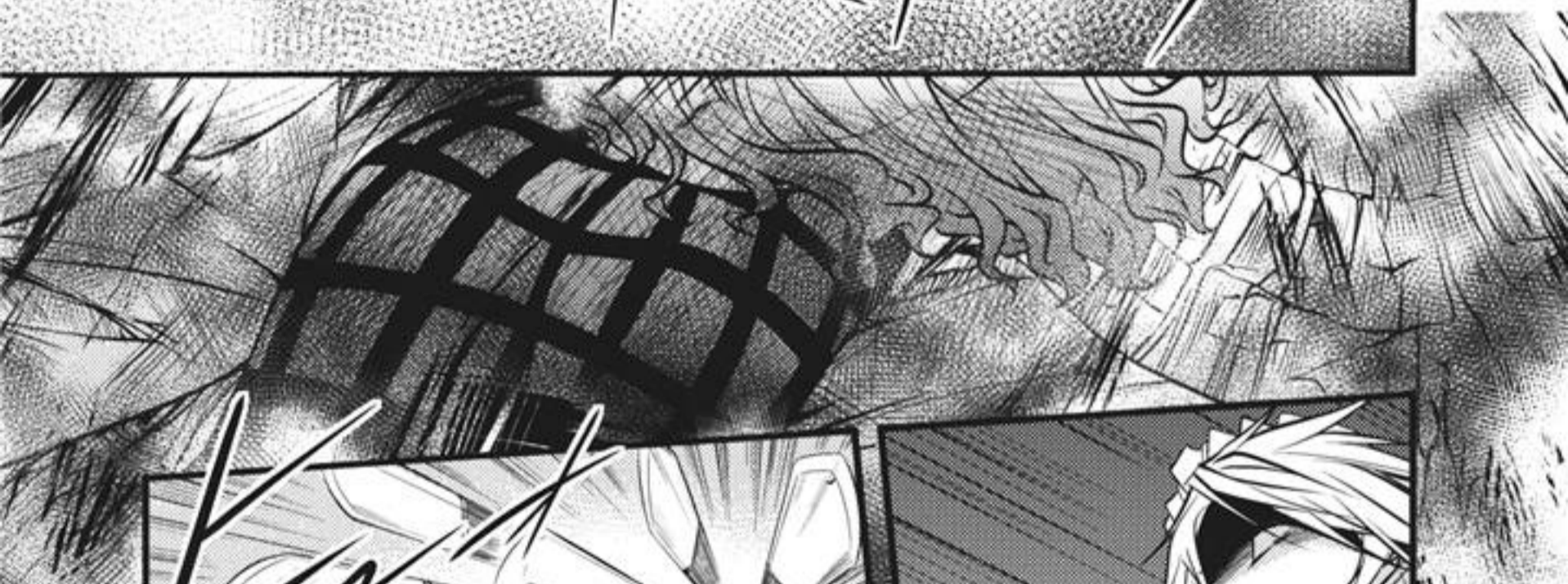
だから


それ

やめなさいって



!!

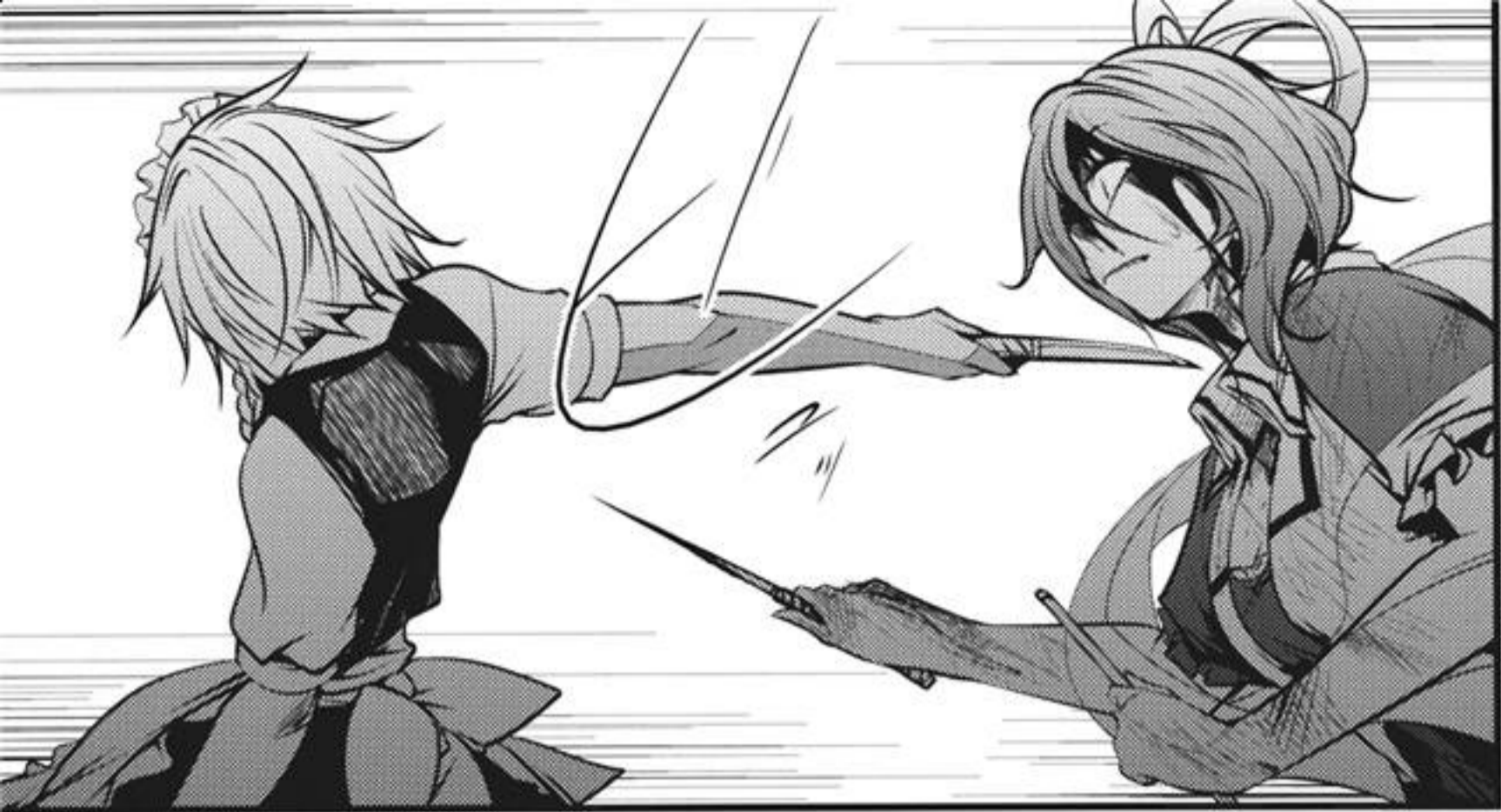




人の身にして
悪魔の巢に
居座る豪傑

十六夜
咲夜！

隙を突くなら
今しか無い……！



貴方の仕業
だったのね



ふうん…
どうやら私の
勘違いだった
ようですね

パチユリー様に
起きた異常は



私を前にして

意味の無い
仮定ね



あと一瞬
早ければ…!!



その一瞬を
得られる者は
僅かよ



虚誘掩殺

貴方を倒すには
刹那の時も
与えない

完全な
奇襲しか
無い



そういう事
でしょう？

青娥さまに
言われた通り
ずっと地中で
待ってたぞー！

ふふ
ごめんね
芳香

さあ芳香
次の仕事よ

おお！

お燐々
痛いよ々

油断した
アンタが
悪い！

どこか
楽なところで
休んでな！

なあに余裕さ
畑の主は
そこで
くたばってるし

まだ
二対一さ

いいえ



一対三ですわ



二匹とも
絶対に
逃がさないで

後は二人に
任せるわ



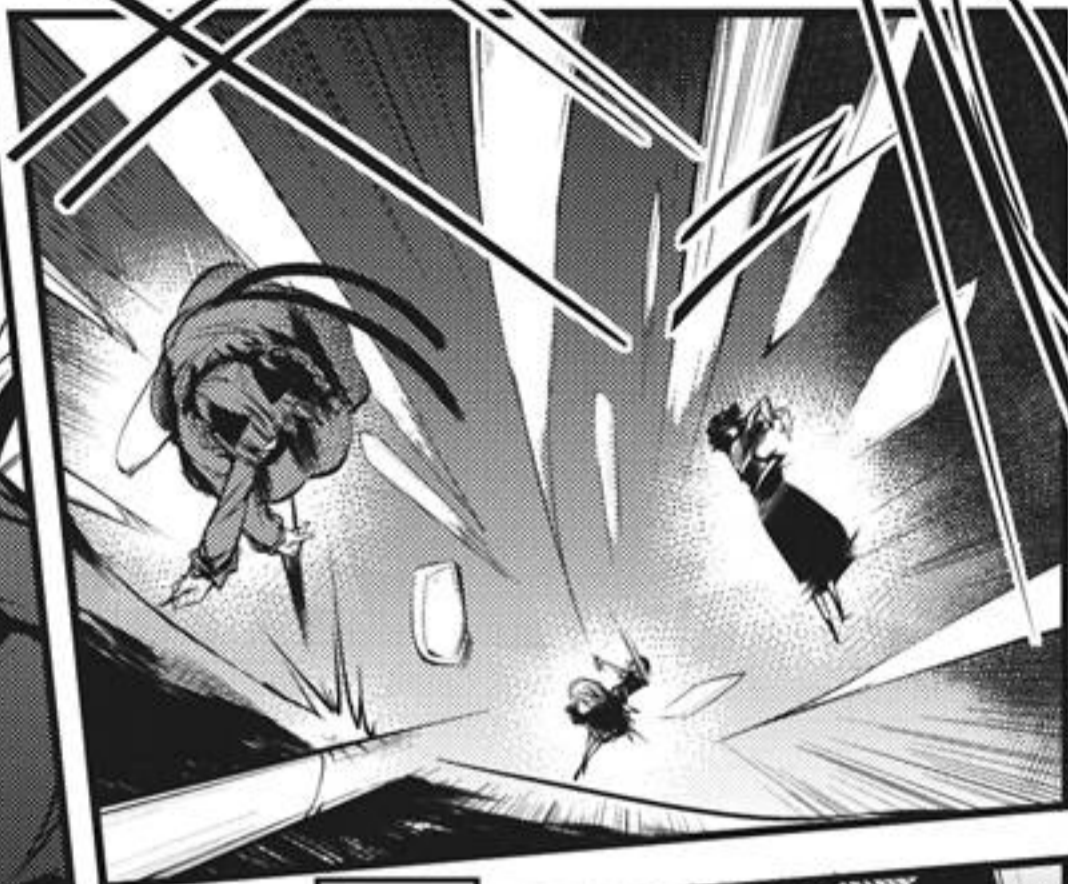
…は？



くそっ……！



とは言え
逃げた先には
さらなる恐怖が
待っているの
でしょうが







……
思い出したわ



病の影響
でしようか
傷が殆ど
回復して
いませんから



！痛たたた…
ほら
動かないで
下さい



貴方一人で
凌いだもの？
大したものね

いいえ
芳香の
お陰です

ああ…
あのゾンビか

キョンシーです



…これは
想像ですが



全く…
盾役にすら
ならないとは

呆れる程の
雑魚ですね

うるさいな
そんな体
したのは
貴方でしょうが



あの
メイドは

貴方を倒しに
来たのでは？



……
……
……
仮にその通り
だったとしても



ア
ン
タ
が
ア
ン
タ
の
か
ら
逃
げ
て
い
る
と
こ
を
見
つ
け
た
の
で
は
な
く
て
？

よっほど
デカイ声で
叫んでたのね



不思議なのは
同居人の異常を
起こしたのが
私だと気づいても

この畑に
来た理由が
分からない





鉢に
植えてね





だから
何故!?

容疑を自分に
向けることに
なんの意味が!?



だってさあ
貴方の企みは
いづれ全てを
敵に回す事
になる

それまで極力
時間を稼ぎたい
そんなところ
でしよう?



私だと
アピール
するためよ



多少の
つまみぐいは
構わないはずよ

どうせ





全員
殺すの
でしよう？



お前の為になる提案だ



貴方は知って
いたのでしょね



…豊聡耳様

ふむたまたま



何故……！

私の意図なんて
とうに気づいて
いらつしやるの
でしよう？



……ろくに
戦えない
くせに

うっ！！



「大量虐殺も
遊びなのよ。」

妖怪相手にも、
人間相手にもね。」

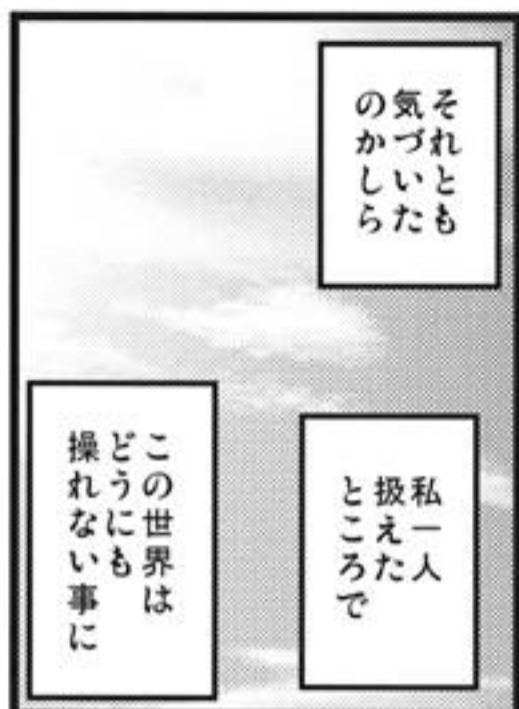


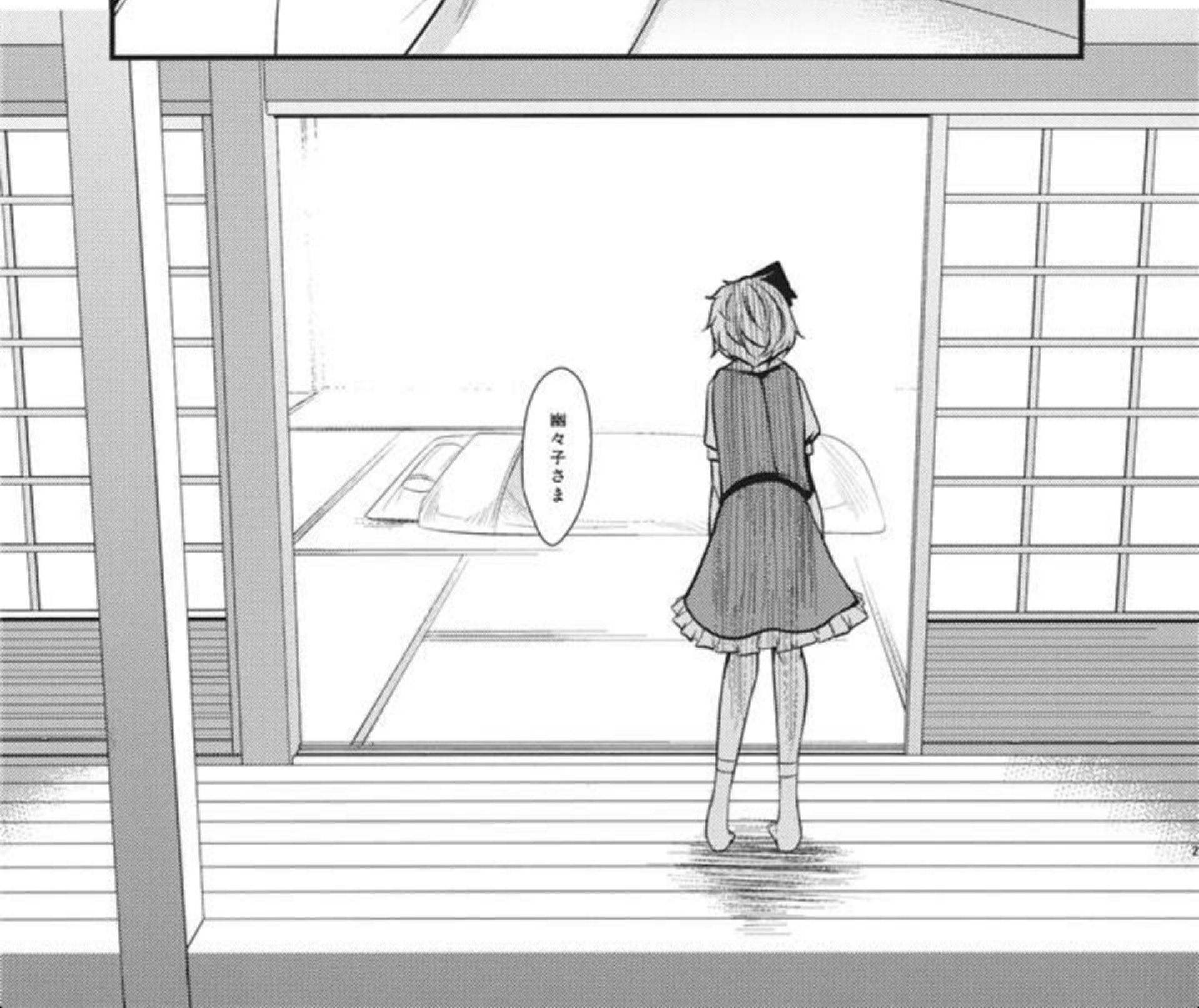
私なら
この方を
御せると
お考えに
なつたのよ

豊聡耳様は
きっと



……まだよ







貴方の監視を
芳香に任せ
たのが失敗
でしたわ



病気を治して
くれたら
少しは役に
立つわよ？

信用
出来ません



後は
ご自分で
どうぞ

ふん



もう十分に
感染者を
増やしたから

これから
私が貴方を
監視します



何の為に
そこまで
するのだから

貴方の方が
ポロポロに
でしよ



それは私が
判断する事です



ふしん
無駄だと
思うけどね



私はその
手助けを
しただけ

いいえ
貴方の意
志が
勝った
ので



人里



とんだ
茶番だ

裏を知って
いれほど
これほど
胡散臭い
台詞は無いわ



いくら聞いても
誤魔化すばかりだ

太子は本当に
脅迫に屈したのか



暫くは外出を
控えるように

必ず
守って
下さいね



…一方的に
やられて
終わりよ

何だと!
我は、太子の
為なら
本当に…!



だから
覚悟一つで
倒せるほど
簡単じゃない
っ—の

うっ!!



…思いは
届いては
いるはず

だから



おっ…お前は
今の太子を
痛ましないと
思わないのか!?

しっ!!



沈黙は
私達への
答えなのよ

それをどう
捉えるか
含めてね



今なら

刺し違えてでも
あやつを倒す
覚悟はある



天界



既にあの
胡乱な妖怪が
外へ探りに
行ったそうだが

…紫の奴ね



我ら天人にも
対処できぬ
異常事態の
原因など

外の世界にしか
あるまい



なるほど

んっ



神様みたいなの
連中まで
意識不明に
陥るなんて

この天子様
にしか解決
出来ない
大事件でしょ

そうねえ…
まず怪しい
のは



…あれ？



だから死神なんて
容疑者筆頭
でしようって

誰も死んじや
いないんだろ？
まずあたいが
そんな面倒な
事をするかよ



…これ
渡りきったら
どうなんの

おめでとう！
第二の人生の
始まりだ



なんでアンタの
船に乗ってんの？

話があるって
いうからだろ？

さあ
いくらでも
聞いてやるよ

ああそうだ
お前の言う
事件とその
犯人って

こいつの事
じゃないかね

ん

天災。妖怪。
異変の無因は
十六夜咲夜

：誰にも
気づかれる
事なく

世界を
駆け巡る
事が出来る
悪魔の犬

条件は
十分です

最近では
貴方の館絡みで
大きな事件も
ありません
でしたし

天災や妖怪の
仕業として
まとめたら
記事では大して
売れませんが

そう
思いませんか？



お嬢様？



違いますよ

全く：ブン屋の
売上至上主義も
巻き込まれる方は
堪らないわね



永遠亭

馬鹿馬鹿しい！



彼女は師匠を
疑ってここに
来たのよ！

そんな犯人が
いるわけ
ないでしょう！



私を騙して
いたの
ですね



二人して

ん？



太陽の畑



彼女が犯人
ですって？
うふふ

適当に妄想を
膨らませた
にしては
いい人選ね



妖夢？



「そう言われれば
不可能で無い」と
感じさせる
ところは
ありますものね

……機嫌ね



計算違いが
頻発した中で
これは後押しに
なりますわ



当然ですわ

誰かが私の為に
迷彩を施して
くれたのですもの



…仕方ない

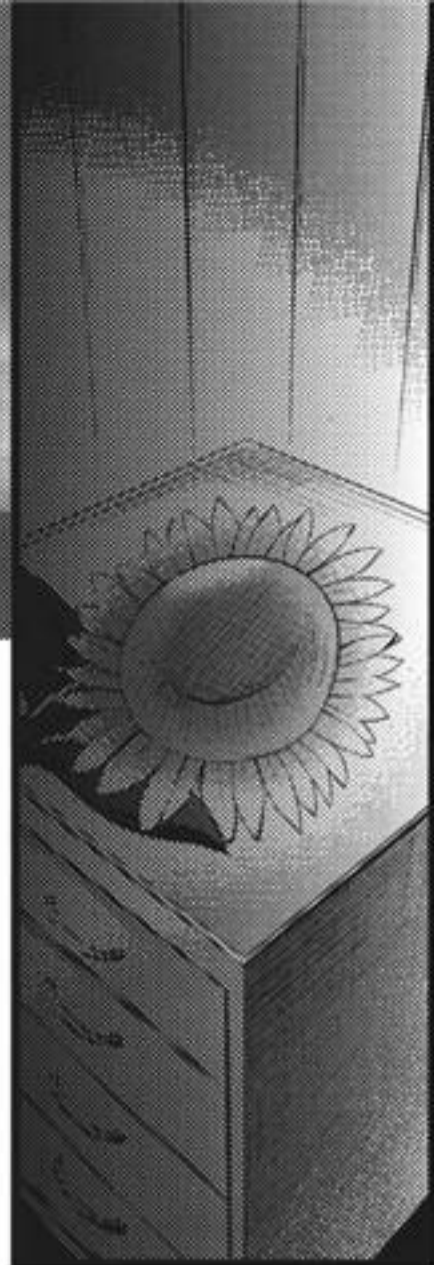


証拠の一つも
挙げられて
いない
胡散臭い
内容でしたが

その新聞なら
こちらでも確認
しました



命蓮寺



その話を
何故我々の
ところに？

うむ…



太子！
こっここ
この新聞は…！？

？ああ
人里で
見たな



はは
青娥の奴は
さぞ喜んで
いるだろうな



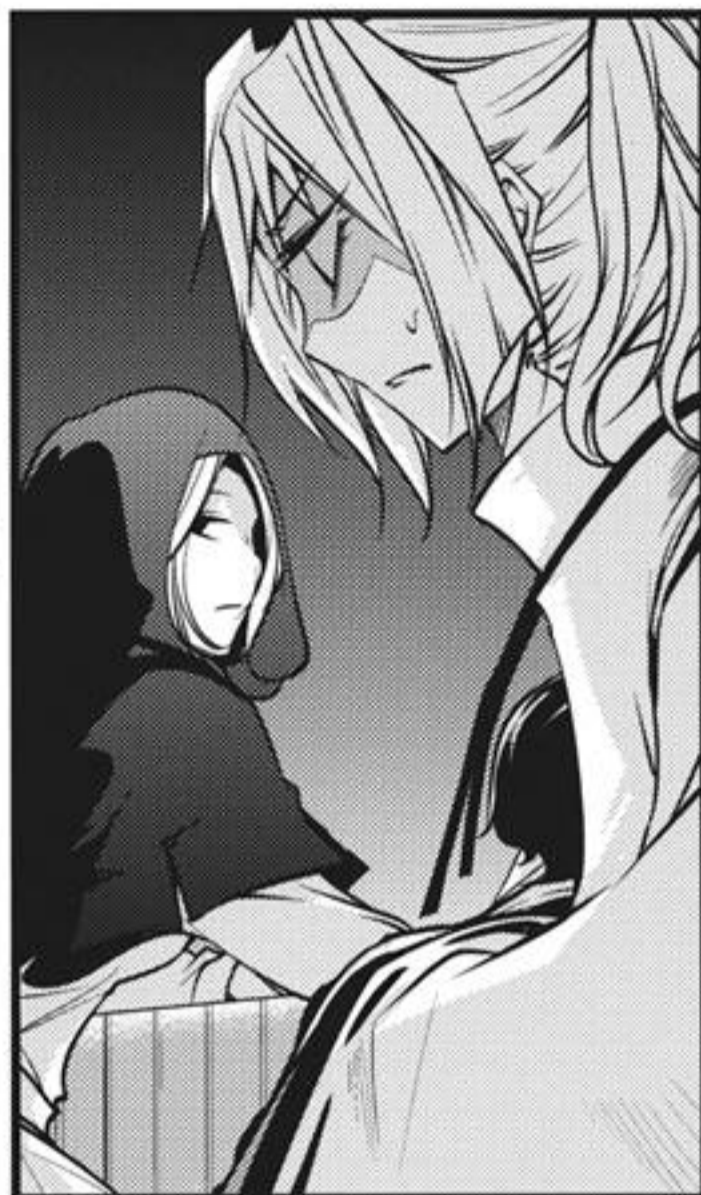
こんなもの
全くの嘘では
ないか！

本当の犯人は
あの邪仙だ！
それを知ってて
見過ごすなど…



以前此方へは
屠自古が
来たはずだ

嘘を付きに
だがな…
すまなかった







雲居殿！
貴方に聞いて
欲しい話
がある！

来た来た



太子！
すまぬ！！



訳あって
私は動けぬ
だから…

スママ

ええ勿論
私達に任せて
下さい



ふうん…
その方って
貴方の身内では
無かったの？

ぜんぜん違う！
あんな極悪人と
我々を同じには
見てもらっては
困る！



すまない
感謝する！

ただな…
奴の居所は
我にも
分からのだ

ああ
それなら





人里に
ウィルス
を撒いて
から
三週間

まだまだ
目標の半分
ってところ
ね



太陽の畑

その犯人を



はあ

結局貴方の
計画って
具体的に
何するわけ？

それは
秘密です



少なくとも
貴方が思う
よう

血染めの
世界では
ありません



やあ

芳香ちゃん
だったかな

おお？



叩き潰す
ためにね



いくらでも
食べていいって
青娥さまが
言ってたぞ



美味しい?
それ

お腹空いてる
なら何か
作るから

向日葵は
あまり
食べないで

お?



貴方も大変ね
ご主人様に
良いように
使われて

なんでだ?
大変な事は
なにもないよ



へ...?
私も仲間
なんでですか?

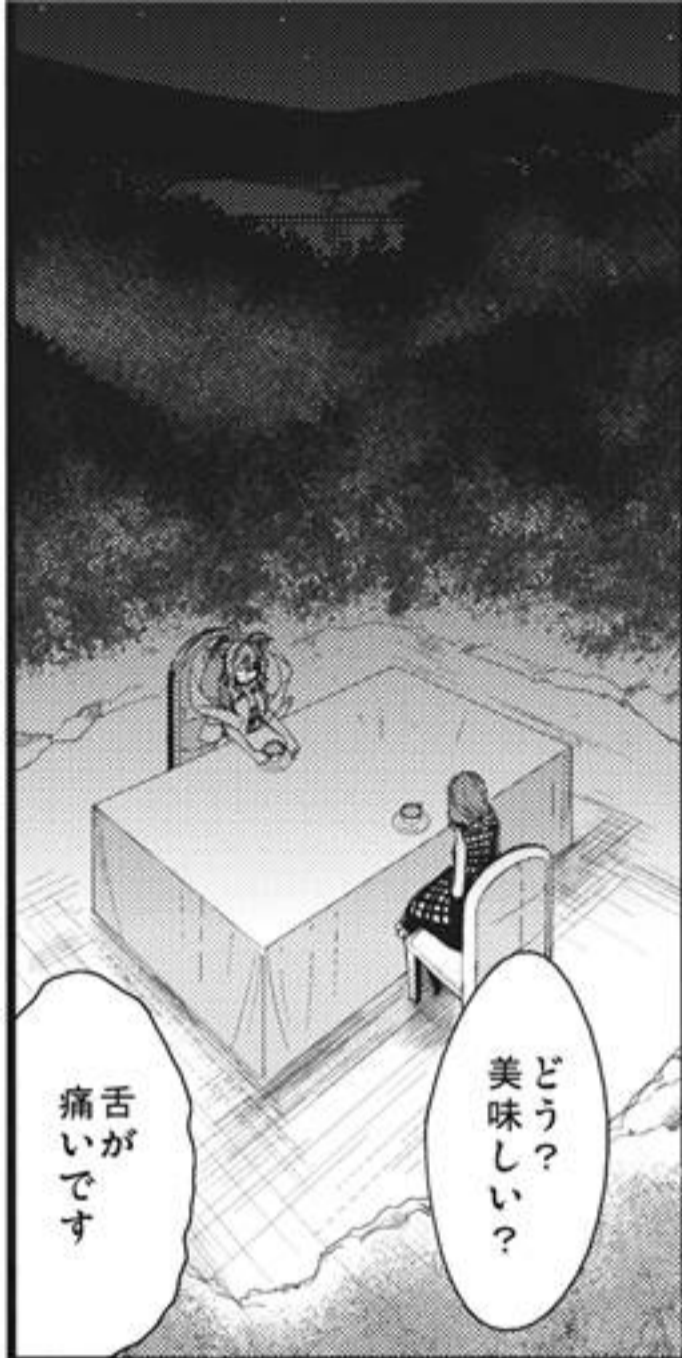
違うのか?
なら敵か??



芳香が
頑張ったら
いっぱい褒めて
くれるんだ!

お前も我々の
仲間なら
分かるだろう!









怖い怖い

貴方の前では
死ぬのだけは
御免だわ

結構な
結構な
心構え
ですわ

貴方は
最後まで
役に立って
頂かないと



考えても
無駄なの
かしら

人で無い者が
人の道に外れた
価値観を持つ

何もおかしな
事はない



別に

無理して
飲まなくて
いいわよ



そんな奴の
盾とはねえの
甲斐の無い
立場だわ

なんです？



傷が治ったら
また淹れて
やるから







ええええ!?

逃げて

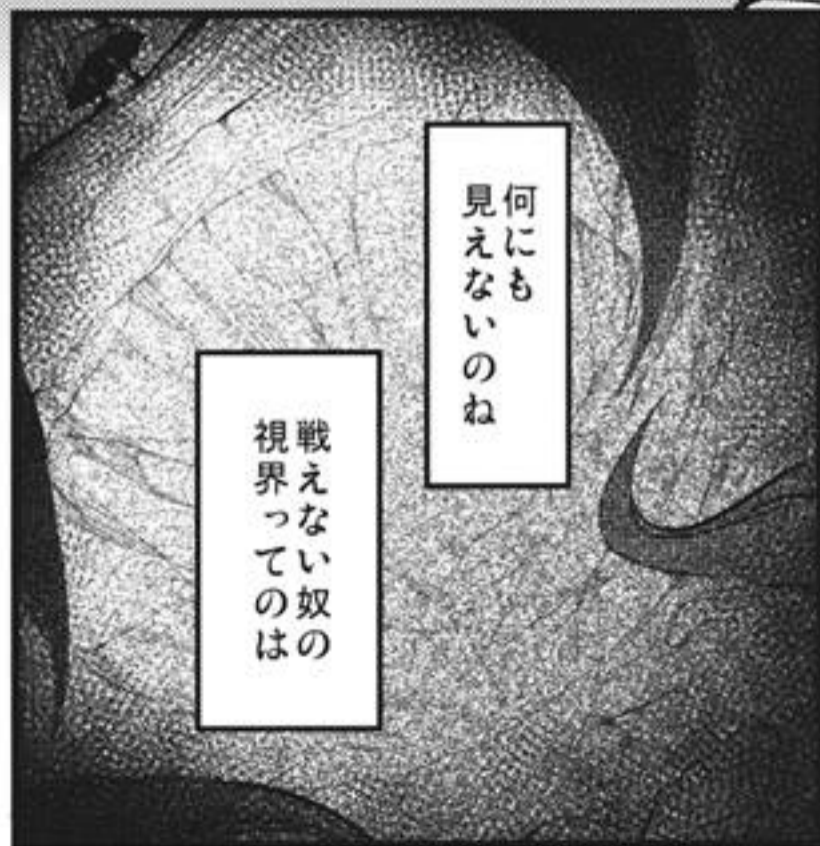
青娥さま



あんな無理
させないで
くれない?

この期に
及んで
温い事を







白蓮の為に
さっさと
終わらせよう

勿論



幽香さん!!

貴方ね…!



芳香!
全力で
いくのよ!



自分で撒いた
種でしよう!?

もう少し
頑張れない
ものですか!?



ここ…
このやろろ
!!!

無理

うん



なんだか
知らないけど
楽勝じゃん



んっ



芳香の力は
青娥さまの
自慢なんだ

もう
負けない



無駄だって







本気には
なっていない
のは

ムラサ
だけじゃ
ないのよ



もう一匹か
追加ですか
でもね…

命蓮寺に
発覚された
時点で

覚悟は
出来て…



一輪！
待たせた

ナスーリン







おいおい…
反応が鈍いぞ
話を合わせた
感じが隠せて
ないねえ

い、いや



目的に多少の
ズレがあっても
やる事は
同じだ!
信じてくれ!

はは
いにし
いや
邪魔さ
しなけ
りや
なんでも
良いよ



さあ…
どう出る?

逃げ場を
失った仙人は





…ふん

逃げる気なんて
初めから
ありませんよ



全力で
青娥さまを
護るぞ！

ぶぶー
違います

お？



芳香…今
やるべき事は
分かってるわね

おお！

もちろんです
青娥さま！



それは
普段の話
今は…

一人でも多く
道連れに
するのよ！

うおお!!!

うおお!!!

紫の家

駄目ね：
それらしい
出来事は
あったけど

精神を
機能不全に
する現象は
無かったわ

幽々子

そう？

幽々子の勘も
たまには
外れるものね

おかしい
わねえ

…なんて

私が
騙されると
思った？



ええ？
そんな事
ないわよ

妖夢ちゃんには
重体のフリを
見せていたけど
言っていただけ



貴方

私にわざと
無駄足を
踏ませたわね



貴方は本当に
重体だった

原因不明の
うちはそう
伝えて：
妖夢ちゃんを
遠ざけた

やがて貴方は
原因に辿り着き
私の元へ来た

私を幻想郷から
遠ざけつつ
原因の詳細を
調べるために



例えば

精神体にすら
取り付く
微生物：



この異常を
自力で治した
者は貴方一人
だけなのよ

つまり
原因は貴方の
能力でなければ
殺せないモノ



はあ

それで？





妖夢の肥やしに
なる前に
貴方に異変を
解決される

ならいっそ
貴方にも発症
してもらおうわ



おやすみ
なさい



さて…この状況
藍ちゃんに
見られたら
面倒だから

死んだふりを
決めよう

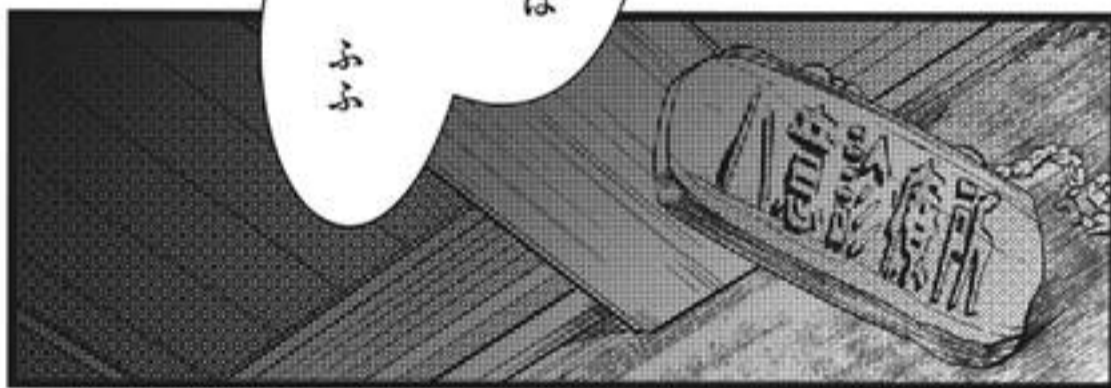




幽々子様

貴方の仇は
私が必ず
討ちます

ふふ



頑張るのよ
妖夢く!

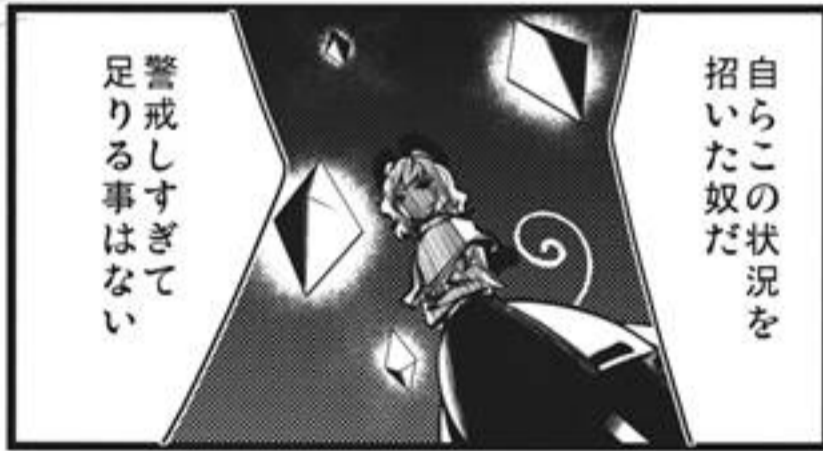
それも
本人次第
よね!



：肥やし
どころか

妖夢の汚点に
なるかも
しれないわね





警戒しすぎて
足りる事はない

自らこの状況を
招いた奴だ



はは…



ナズーリンは
そちらを
任せるわ

ああ…
追い討ちとは
気が引けるが





あいつ

何を粘って
いるのよ



ただ傷ついて
じゃくはないけ



よう
そろそろ
未練は
断ったか？










自分の腕が
磨り潰れ
ようと



目的を
果たさ
ず




芳香ちゃんの
腕が折れようと



芳香ちゃんの
身体以上に


自分の身体
なんて
どうでも
いいんだ




幽香さん！

やあ





火の海から
返り咲けぬら
向日葵なんて



私の畑で
咲く資格は
無いわ！

おかしな事を
言い出した！！

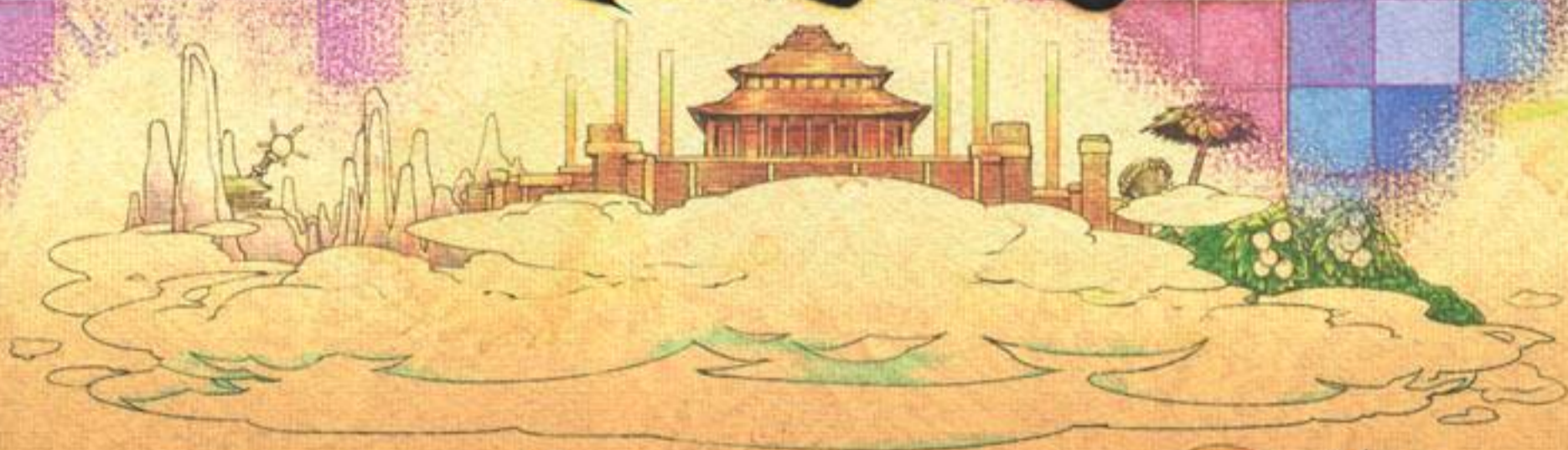


ふしん

こいつが
犯人？



大感染Ⅱ



徒歩二分/茶戸

<http://tohoni.blog4.fc2.com/>
midnight0170@hotmail.com

二〇一二年八月十一日発行

印刷：アクシス出版